

奨励賞

○設計者

山中新太郎

- 東京建築士会
- 日本大学理工学部／(株)山中新太郎建築設計事務所



鈴木俊作

- 東京建築士会
- (株)協立建築設計事務所



○大学施設

日本大学理工学部 船橋キャンパス新サークル棟

- 千葉県船橋市

▶▶▶ 選評

日本大学船橋キャンパス内に建つ、学生のサークル活動の場、いわゆる「部室=ぶしつ」の集合体である。日本大学では創立100周年に向けてキャンパスの再整備を図っており、このサークル棟もその一環として、環境型「ガーデンキャンパス」というコンセプトの実体化を担う大切な布石と位置付けられている。

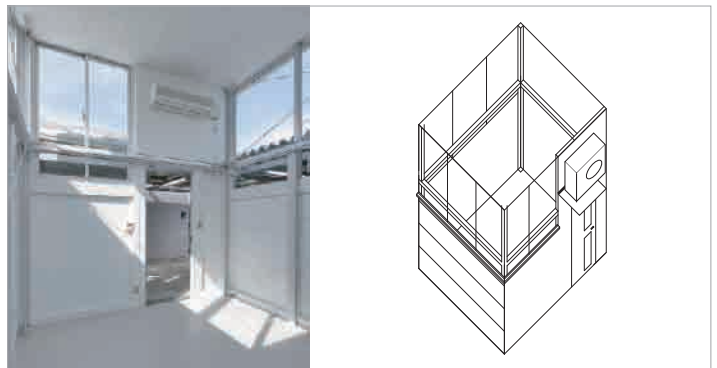
設計の前に約50の既存サークルの活動実態を調査し、それぞれの活動の多様性と自立性を受け止め、将来の変化に耐えうるシステムを実現しようと試みた結果が平面3.8m×3.2mの空間単位120で構成するグリッドに表現された。各室内には壁面を多くとりながら、廊下の天井高との差をハイサイドライトとして、従来の「部室」の暗いイメージを解決している。120のグリッドのほぼ中央部に、「光庭」の役割も果たすミーティングルームが2つ配置されている。それぞれのサークルの位置は、活動場所や利用頻度によって決定され、活動が廊下やミーティングルームににじみ出て、サークル同士の交流も生まれつつあるという。

繊細で軽快な空間をつくるための構法にややコントロール不足がみられることが惜しまれたが、明快なコンセプトに基づいた入念な計画と設計が、学生の活動にふさわしいはつらつとした空間を生み、キャンパスの将来を担う秀作となった。

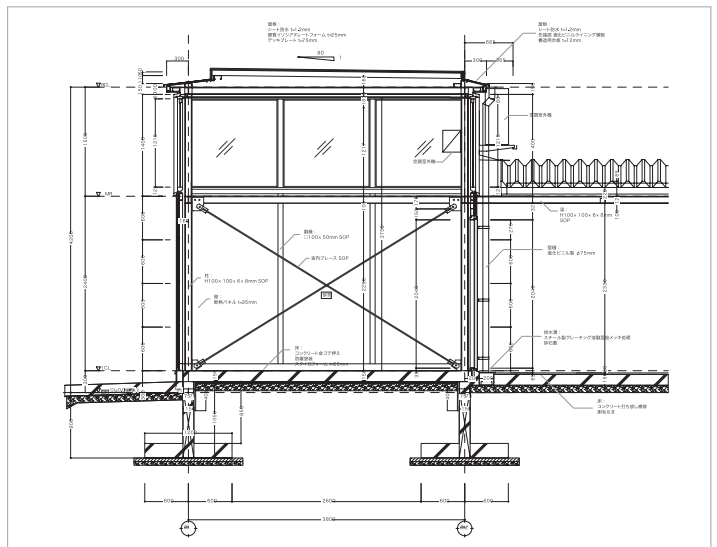
(松川淳子)



A



1部屋の代表的ユニットとその内観。個室は3.8×3.2×高さ3.75mのモジュール



断面詳細図



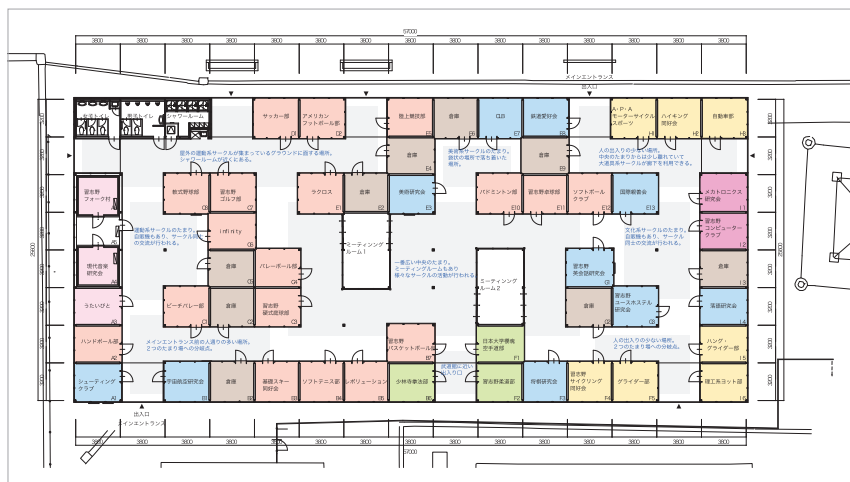
B



C



D



平面図(塗り色はサークルの系統を示す) ■運動部系 ■武道系 ■文化部系 ■大道具系 ■音楽系 ■電気系

- A : 外観。ハイサイドライトから光を採り入れる
- B : 全景
- C : ミーティングルーム。光庭の役割を果たす
- D : 3.8m×3.2mのグリッド状に配置された60のセルと同面積の外部廊下

写真撮影：中川敦玲

- 構造・階数：鉄骨造、地上1階建
- 敷地面積：375,591.94㎡
- 建築面積：1,478.79㎡
- 延床面積：1,384.24㎡
- 竣工：平成22年6月5日